

新潟開港140周年記念事業

企画展 G O S E D A

五姓田－明治新潟の人々を描いた絵師 2009 4/25(土)～6/7(日)

(※会期中一部展示替えを行います。詳細はお問い合わせください)

◆趣旨

明治時代に入り日本に押し寄せた西欧文化の波は、絵画表現にも変革をもたらしました。

初代五姓田芳柳(1827-92)は、西洋画の陰影法に衝撃を受け、写真を使った独自の表現により肖像画に新境地を開きました。芳柳の息子義松(1855-1915)はチャールズ・ワグマン(1832-91)に学んだ後、渡仏して本格的な油彩画を修めました。義松に弟子入りし五姓田の家督を受け継ぐ二世芳柳(1864-1943)は、肖像画だけでなく風景画や歴史画にも才能を発揮しました。初代芳柳の娘勇子(渡辺幽香)や門弟を含めた「五姓田派」とも称される人々は、日本の近代絵画の幕開けの一端を担いました。

東京・横浜を主な活動拠点としていた「五姓田派」ですが、新潟に関する作品を多く残しています。このことは、明治期の新潟を考える上でも注目に値します。明治11年、義松は天皇の北陸巡幸に絵師として随行し新潟を訪れ、明治17年には、二世芳柳が新潟師範学校の図画教師として赴任しています。初代芳柳は、「新潟萬代橋図」(市指定文化財)の作者として知られていますが、新潟を数度訪れ、多くの名士の肖像画を描いており、幽香も新潟に関係する作品を残しています。この展覧会では、新潟に関わる作品や記録を展示し、新潟における五姓田派の活動をご紹介します。



「絵を描く芳柳」(義松旧蔵作品群) 神奈川県立歴史博物館蔵

◆展示構成

1. 五姓田芳柳と五姓田派の人々
2. 明治天皇北陸巡幸と五姓田義松
3. 二世芳柳の新潟
4. 五姓田派の描いた新潟と人々

ワグマンの描いた新潟／八木朋直と五姓田派／描かれた新潟の財界人／描かれた新潟芸妓／新潟県内の五姓田派の作品



初代五姓田芳柳「新潟萬代橋図」(左) 「初代鍵富三作肖像」(右)

◆関連事業

【講演会】5月10日(日)午後1時半～3時：2階セミナー室

「五姓田派って何？－新潟での活動を中心に－」

講師：角田拓朗氏(神奈川県立歴史博物館学芸員)

※講演会終了後、講師とともに企画展を観覧の予定です。【企画展観覧券が必要です】

要申し込み：5月1日[金]必着 参加費：100円

【体験プログラム】5月31日(日)午後1時～3時：1階たいけんのひろば

「写真そっくりの絵に挑戦!!」

対象：小学生 要申し込み：5月22日[金]必着 参加費：無料

申し込み方法：①氏名②住所③電話番号④参加希望プログラムを明記の上、メールまたは往復はがきにて下記博物館まで。

【ギャラリートーク】

毎週日曜日午後1時半～(5月10・31日は午後3時半～)：企画展示室
申し込み不要 参加費：無料【企画展観覧券が必要です】

Information

■観覧料(常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	600円	480円
大学生・高校生	400円	320円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

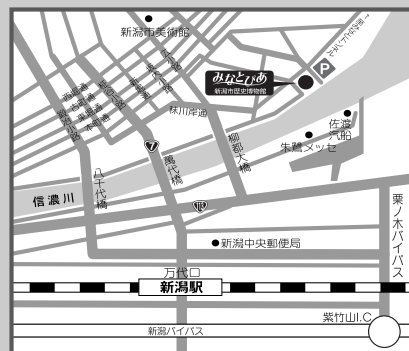
※中学生・小学生は土日祝日の観覧が無料になります。

■開館時間／9:30～18:00(観覧券の販売は17:30まで)

■休館日／4月27日(月)・5月7日(木)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・6月1日(月)

■交通案内／

- バス／新潟駅万代口バスターミナル13番乗車
 - ・新潟市観光循環バス犬夜叉号(15分)
 - ・新潟交通「昭和大橋経由入船営業所」行(25分)
 いずれも「歴史博物館前」下車すぐ
- 車／新潟バイパス紫竹山IC～栗ノ木バイパス～国道113号～柳都大橋右折：ICより約15分
[駐車場73台収容 無料]
- 信濃川ウォーターシャトル／敷地脇より発着



※もっと五姓田派作品が見たい方へ…

新潟県立近代美術館企画展

「油絵事始め リアリズムを求めて 日本近代洋画への道」

初代芳柳1点、ワグマン26点、義松6点、幽香2点、二世芳柳6点、ほか、渡辺文三郎、山本芳翠、満谷国四郎、山内愚遷らの五姓田派の作品をご覧いただけます。

4/11(土)～5/31(日) 会期中無休

会場：新潟県立近代美術館 長岡市千秋3丁目278-14 TEL0258-28-4113



〒951-8013
新潟市中央区柳島町2-10
TEL:025-225-6111
FAX:025-225-6130
URL: http://www.nchm.jp
E-mail: museum@nchm.jp